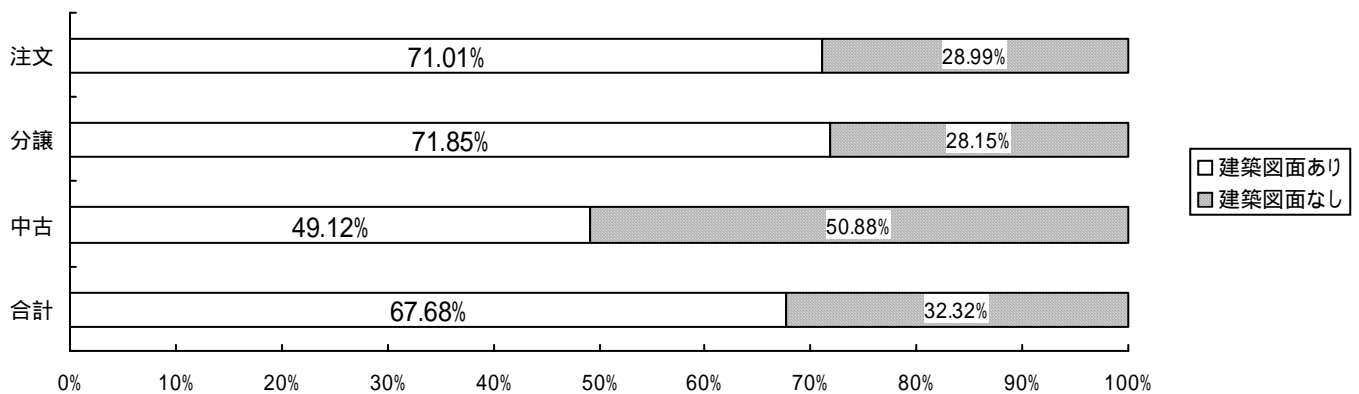


住宅購入形態別 建築図面保持状況

建築図面保持状況を住宅の購入形態（注文住宅 / 分譲住宅 / 中古住宅）別に調査しました。

住宅購入形態別 建築図面保持状況

	注文		分譲		中古		不明・無回答	合計	
建築図面あり	4,937	71.01%	1,279	71.85%	778	49.12%	78	7,072	67.68%
建築図面なし	2,016	28.99%	501	28.15%	806	50.88%	54	3,377	32.32%
不明・無回答	579		163		100		1,041	1,883	
合計	7,532		1,943		1,684		1,173	12,332	



中古住宅の価値担保のために、住宅履歴の蓄積の必要性

住宅の購入形態別に図面の保持状況を調査したところ、注文・分譲で建物を購入した受診者の約7割が建築図面を保有していたのに対し、中古住宅を購入した受診者の建築図面保有率は半分にも満たないという結果になりました。

住宅の長寿命化を推進するためには、既存の住宅のメンテナンスを定期的かつ継続的に行うことが求められますが、流通の過程で建築図面やこれまでのメンテナンス履歴が散逸してしまうと、継続的なメンテナンスが困難になってしまい、結果として住宅の長寿命化を阻害してしまうこととなります。今後中古住宅の流通を促進するに当たり、建築図面の保持をはじめとする住宅履歴を蓄積していくことが、事業者には課せられた役割であると思われます。